



にじいろ通信 No.28

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
 MAIL:nijiiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

梅雨のジメジメした空気を吹き飛ばす、元気いっぱい子ども達

にじいろのご利用について 定員10名 早めに声を掛けてください!

「手先の力と遊び」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

お箸を使う、ボタンを留める、小さなものを掴むなど、生活の中には手先を使う動作があふれています。子ども達の中には、これらの動作が苦手な中で日常生活の中で困った場面に出会うこともあると思います。でも手先を上手くコントロールして細かな作業も出来るよう練習させようと思っても、子ども達はなかなかやる気を出さないものです。苦手な動作を何度も繰り返すことで、出来なかった経験と、漠然とした苦手意識が積み重なり、手先を使う機会が減ってしまうことになるかもしれません。

そんな「手先の力」を楽しく・無理なく身に付けて行くには遊びが一番です。粘土やぬり絵、調理、パズル、製作により



5/27 梅雨の晴れ間の暑い日に、森林公園へ出かけました。こんな日は水遊びが一番です。園内散策のあとで、じゃぶじゃぶ池でたくさん遊びました。



運動活動で、風船遊びを行いました。くるくる回る風船を飛び越えてほしいけど、不思議だな〜と見入ってしまう子ども達です。大喜びの時間になりました。



ジャガイモ収穫体験に参加しました。掘って掘って小さいジャガイモから大きなジャガイモまで収穫出来ました。やっぱりポテトサラダが一番だと言う子ども達。

視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚の五感に働きかけて、楽しい遊びの繰り返しから「手先の力」を育てることが大切です。遊びの中で「できた」「楽しかった」「もっとやりたい」という気持ちを大切に経験していくといいですね。にじいろの自立課題や活動も簡単な事を楽しく繰り返しながら手先の力、見る力を刺激出来ていると考えます。また、自由遊びの時間を大切にしています。文字や絵を描く子ども、ブロックやミニカーで遊ぶ子、トランプやオセロを楽しむ子と、それぞれの時間を満喫しています。とは言っても、覚えてもらいたい日常動作もあります。近くにいる大人は、子どもの成長発達の様子を知って、無理なく指導していくことと、代替えで出来るようにすることも考えていくことだと思います。慌てず、無理せず「出来ない」ことより「出来る」ことに注目していきたいです。



魚になったように楽しく動き回ります。ヤッホーという声が聞こえてきます。



少しずつ水を確かめて入りました。慣れてきたら水を掛け合って楽しみました。



6/6 職員の須加さんのお寺に遊びに行きました。このブランコが大好きです。

- ★7月のにじいろ 7/2 (火) 消防訓練 7/5 (金) 七夕の会 7/15 (月・祝) 古代蓮公園散策
- 7/19 (金) 理科実験「バルーンスライムを作ってみよう」
- 7/20 (土) 土曜くらぶ「日帰りバスツアーカップラーメンミュージアム&ズーラシア」
- 7/24 (水) お楽しみ会「穴あきクイズ&間違い探し」

★にじいろで欲しいもの 知育玩具 プール タブレット ブラレール ぶら下がり健康器

★ありがとうございました 須加様:イチゴ 近所の皆様:ひまわり、あじさい 今村様:電車のおもちゃ